取扱説明書

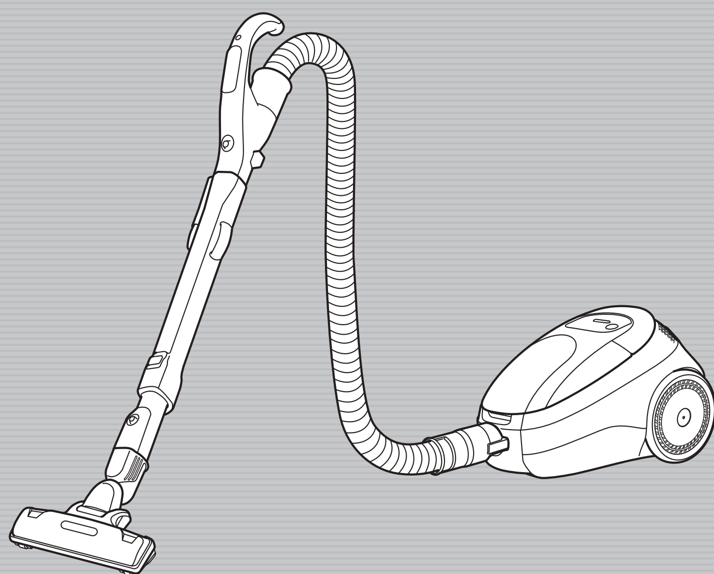
保証書別添付

日立電気掃除機

型式

CV-S500

HITACHI
Inspire the Next



ごみダッシュサイクロン

日立サイクロン式クリーナー

このたびは日立電気掃除機をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

この掃除機は家庭用です。業務用や掃除以外の目的にはご使用にならないでください。

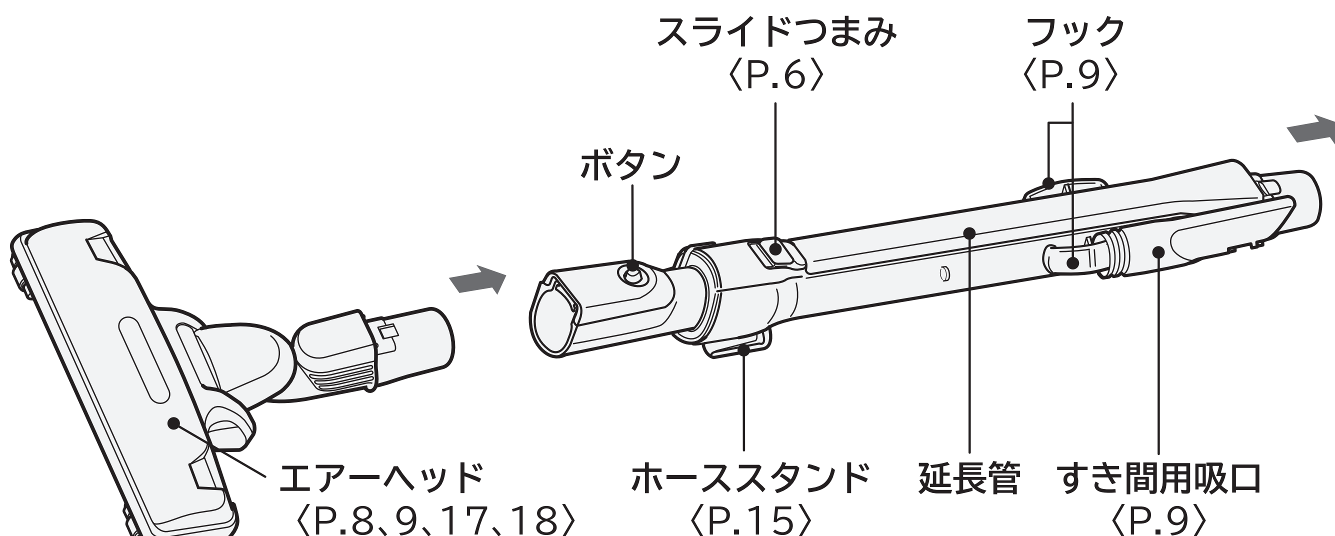
ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みになり、正しくご使用ください。

お読みになったあとは、保証書とともに大切に保存してください。

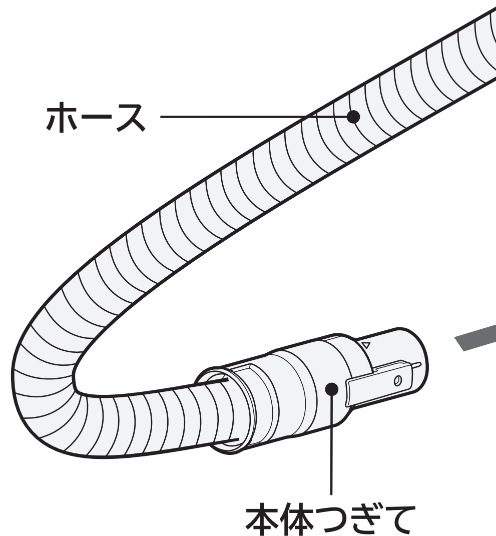
「安全上のご注意」〈P.4～5〉をお読みいただき、正しくご使用ください。

もくじ

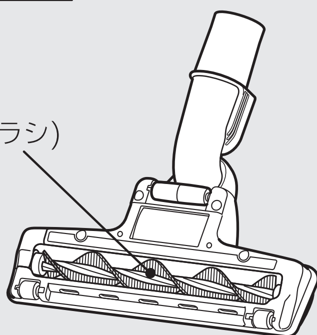
各部のなまえと組み立てかた

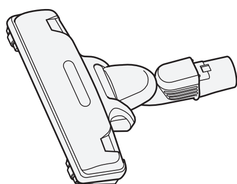
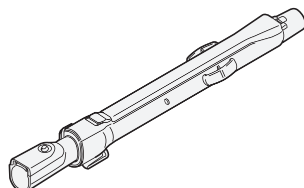
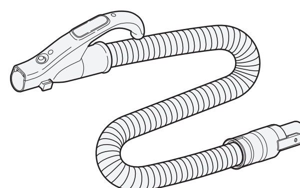


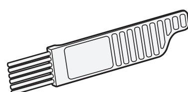
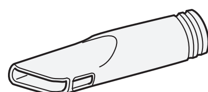
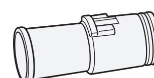
●エアーヘッド、延長管を外すときは、
ボタンを押しながら抜いてください。
●エアーヘッド、延長管の取り付けの際、
「カチッ」と音がしないことがありますが、
異常ではありません。



裏側



標準付属品		
エアーヘッド（1個） (D-TM47) 	延長管（1本） (ワンタッチズームパイプ) 	ホース（1本） 

付属応用部品			
お手入れブラシ（1個） (ダストケース側面に取り付けられています) 	すき間用吸口（1個） 〈P.9〉 	ティッシュペーパー（1枚） 〈P.14〉 (ダストケースに取り付けられています) 	別売り部品接続用 アタッチメント（1個） 〈P.10〉 

ボタン

スタンドフック〈P.15〉

手もと操作部
グリップハンドル
運転スイッチ〈P.7〉

本体のランプ〈P.7〉

上ふた

上ふた開閉部

カチッ

電源コード巻き取りボタン〈P.15〉

排気口

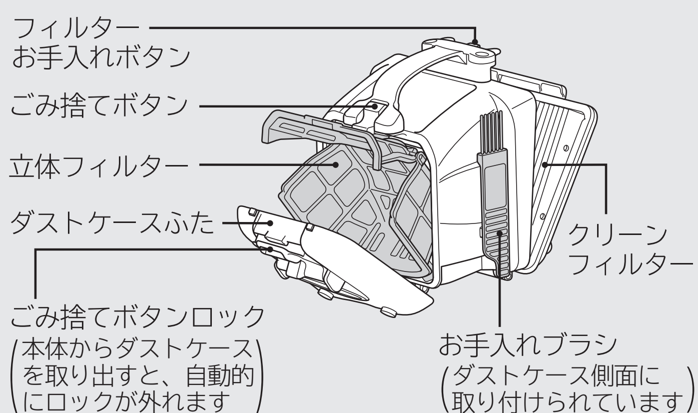
可動ハンドル

電源コード

電源プラグ

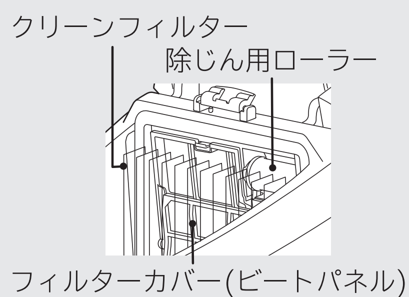
車輪

ダストケースの構成



除じん機構

電源コードを引くと、フィルターカバー(ビートパネル)が振動し、クリーンフィルターに付着した微細なチリを落として目詰まりを抑えます。



安全上のご注意　必ずお守りください

ご使用になる人や、ほかの人への危害、財産への損害を未然に防止するため、お守りいただくことを次のように説明しています。また、本文中の注意事項についてもよくお読みのうえ、正しくご使用ください。

■表示内容を無視して誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

 **警告**　この表示の欄は、「死亡または重傷を負うことが想定される」内容です。

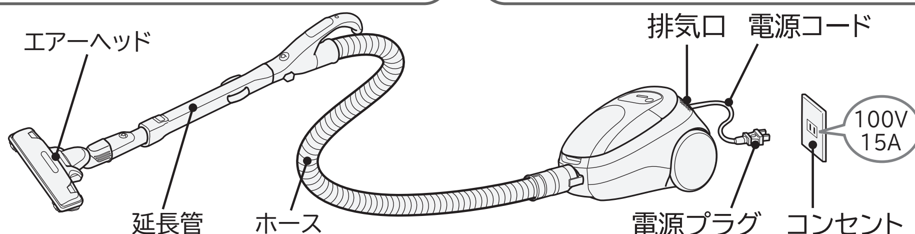
 **注意**　この表示の欄は、「軽傷を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される」内容です。

絵表示の説明

 「警告や注意を促す」内容のものです。

 してはいけない「禁止」内容のものです。

 必ず実行していただく「指示」内容のものです。



 警告

異常・故障時には直ちに使用を中止する



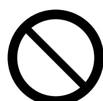
・スイッチを押しても、運転しない
・電源プラグやコードを動かすと、通電したりしなかったりする
・運転中、時々止まる
・運転中、異常な音がする
・本体が変形したり、異常に熱い
・ホースが破れている
・こげくさい"におい"がする
・その他の異常がある

発煙・発火・感電のおそれがあります。
すぐにスイッチを切り、電源プラグを抜いて、販売店へ点検・修理を依頼してください。

電源(コンセント・プラグ・コード)



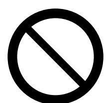
●定格15A以上・交流100Vのコンセントを単独で使う
●電源プラグは根元まで確実に差し込む
●ごみ捨てやお手入れの際は、電源プラグをコンセントから抜く
●電源プラグのほこりなどは定期的に乾いた布でふき取る



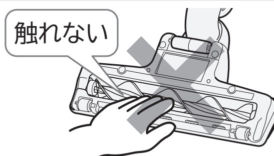
●電源コードを傷つけない
（傷つけ・加工・無理な曲げ・引っ張り・ねじり・重いものを載せる・挟み込むなどしない）
●傷んだ電源コードや電源プラグ、ゆるんだコンセントは使用しない
●電源コードを回転ブラシに巻き込まない
●ぬれた手で抜き差ししない

火災・感電の原因となります。

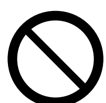
エアーヘッド(吸込口)



●回転ブラシには触れない
けがの原因となります。
特にお子さまにはご注意ください。



そのほか



●引火性のもの、可燃物、火気のあるものの近くで使用しない、吸わせない〔灯油、ガソリン、シンナー、ベンジン、トナー、可燃性ガス(スプレー)、たばこの吸い殻など〕
●押しピン、針、つまようじ、じゅうたん洗浄剤などの泡のようなものを吸わせない
●改造はしない。修理技術者以外の人は、分解したり修理をしない
●水洗いをしたり風呂場で使用しない(水洗いできる部品は除く)

爆発・火災・感電・けがの原因となります。



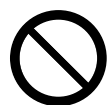
⚠注意

電源(コンセント・プラグ・コード)

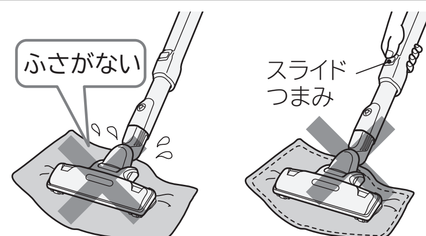


●**使用時以外は、電源プラグをコンセントから抜く**
絶縁劣化による感電・発火の原因となります。
●**電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに先端の電源プラグを持って引き抜く**
電源コードが傷つき、ショート(短絡)して感電・発火することがあります。
●**電源コードを巻き取るときは電源プラグを持つ**
電源プラグが当たってけがをすることがあります。
運転終了直後は、電源プラグの刃先が熱くなることがあり、やけどのおそれがあります。
●**電源コードは、水平に引き出す**
上方向に引き出すと、本体とのこすれにより電源コードが破損して感電・発火の原因となります。

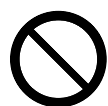
エアーヘッド(吸込口)



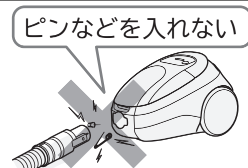
●**運転中に吸込口をふさいで、スライドつまみをスライドさせない**
延長管が急に縮んで、けがをすることがあります。
●**吸込口をふさいで長時間運転しない**
過熱による本体の変形・発火の原因となります。



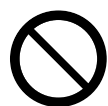
ホース



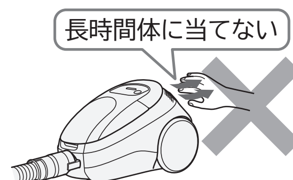
●**ホース差し込み口の接点にピンなどを入れない**
ショート(短絡)して感電・発火の原因となります。



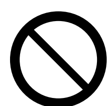
排気口



●**排気口をふさがない**
過熱による本体の変形・発火の原因となります。
●**排気口から出る風を、長時間体に当てない**
低温やけどをすることがあります。



そのほか



●**火気に近づけない**
本体の変形によりショート(短絡)して感電・発火の原因となります。
排気により炎が大きくなり、火災の原因となります。
●**ダストケースを取り外したまま、電源コードを引き出さない**
除じん用ローラーやフィルターカバー(ビートパネル)で手などをけがすることがあります。

使用上のお願い

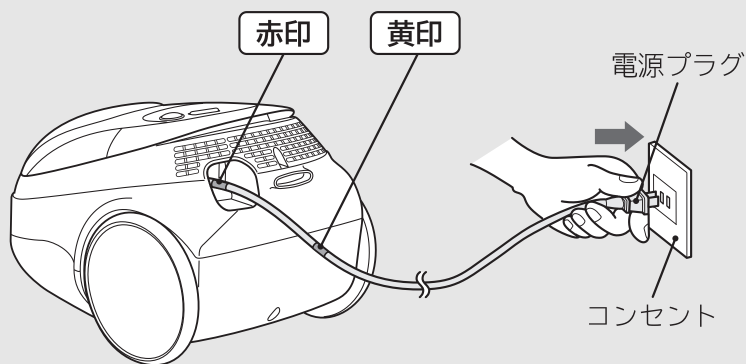
故障などを防ぐために、次のことをお守りください。
また、本文中の お願い 事項についてもよくお読みのうえ、正しくご使用ください。

●**電源コードは赤印以上無理に引き出さない**
断線の原因となります。
●**エアーヘッド、延長管、ホースを強くぶつけない**
破損の原因となります。
●**ホースや延長管の先端で掃除しない**
接触不良や破損の原因となります。
●**持ち運びするときは、ホースを持ってぶら下げない**
ホースの破損の原因となります。
●**本体に乗らない**
故障の原因となります。
●**次のようなものは吸わせない**
異臭や故障の原因となります。
・水や液体　・湿ったもの　・吸湿剤(湿気取り)
・多量の砂や粉　・長いひも　・ガラス
●**水洗いした部品は十分に自然乾燥させる**
異臭や故障の原因となります。

運転のしかた

1 電源コードを引き出し、電源プラグをコンセントに差し込む

電源コードを引き出すと、「除じん機構」が働きます。
〈P.3〉



●チリ落としの効果を出すため、お掃除のときは電源コードを黄印まで引き出してください。
●電源コードを引き出すとき、巻き取るときのカタカタ音は除じん機構の音ですので異常ではありません。
●電源コードを巻き取るときは、チリ落としをしません。

⚠警告

火災のおそれあり
定格15A以上・交流100Vのコンセントを単独で使う
●延長コードを使用したり、ほかの家電製品と同一のコンセントをご使用にならないでください。

⚠注意

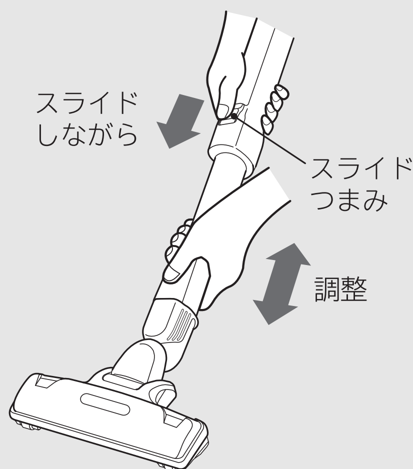
けがのおそれあり
●ダストケースを取り付けてから、電源コードを引き出してください。除じん用ローラーの回転やフィルターカバー(ビートパネル)の振動で、手などをけがすることがあります。

お願い

●電源コードは赤印以上引き出さないでください。断線の原因となります。

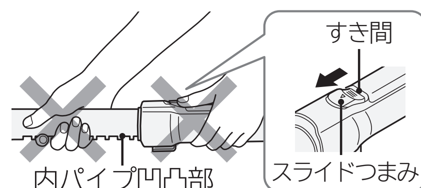
2 延長管の長さを調節する

スライドつまみをスライドしながら、延長管を伸縮させる



⚠注意

けがのおそれあり
●運転中に吸込口をふさいで、スライドつまみをスライドさせないでください。延長管が急に縮むことがあります。
●掃除をするときや延長管を縮めるときは内パイプの凹凸部を持たないでください。また、延長管を伸縮させるときは、スライドつまみと延長管のすき間に手などを押しつけないでください。手を挟むことがあります。



3 運転スイッチを押す

強 じゅうたんの念入りなお掃除に
弱 ゆか、たたみなどのお掃除に 静かにお掃除したいときに
標準 ふつうのお掃除に

●「強/弱」スイッチは、押すごとに「強」→「弱」→「強」の順に切り替わります。



運転を止めたいときに

⚠注意

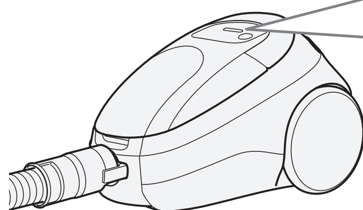
けがのおそれあり

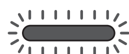
●吸込口をふさいで、「強/弱」スイッチや「標準」スイッチを押さないでください。
ホースが急に縮んで、本体が転倒することがあります。

運転時の機能について

●ごみ捨てやフィルターお手入れ時期の目安をお知らせします。

本体のランプ



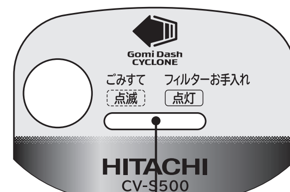


点滅 ごみ捨てのお知らせ(目安)です。〈P.11～13〉



点灯 フィルターお手入れのお知らせ（目安）です。〈P.16〉

●「弱」運転のときは、点滅／点灯しません。



本体のランプ

こんなときは

●細かい砂ごみ、土ぼこりを吸わせたとき
少量のごみでも「本体のランプ」が点滅／点灯することがあります。
このようなときは、ごみ捨て／フィルターのお手入れをしてください。

●綿ごみなどが多いとき
ごみがいっぱいになっても「本体のランプ」が点滅／点灯しないことがあります。
お掃除が終わったら「立体フィルター」と「クリーンフィルター」のごみを捨ててください。

●毛足の長いじゅうたんなどで吸込口がふさがれたときや、すき間用吸口をご使用のとき
吸込風量が少なくなるため、ごみの量に関係なく「本体のランプ」が点滅／点灯することがありますが、「本体のランプ」が消灯すれば、そのままご使用いただけます。

●ティッシュペーパーを取り付けたとき
通常より早期に「本体のランプ」が点滅／点灯することがあります。
このようなときは、ごみ捨て／フィルターのお手入れをしてください。

●延長コードを使用したり、ほかの家電製品と同一のコンセントをご使用のとき
電源電圧の低下により、早期に「本体のランプ」が点滅／点灯することがあります。
定格15A以上・交流100Vのコンセントを単独でご使用ください。

●「本体のランプ」が点滅したまま運転を続けたとき
「本体のランプ」が点灯することがあります。
このようなときは、「立体フィルター」と「クリーンフィルター」のごみを捨ててください。

お掃除のしかた

エアーヘッド

●ゆか面に合った操作のしかたで、上手にお掃除ができます。

じゅうたん	**前後に動かしてお掃除します。引くときにごみがよく取れます。** ●初めてお掃除するじゅうたんの場合、あそび毛がたくさん取れることがあります。
ゆか・たたみ	**ゆか面の傷つき防止のため、ゆかやたたみの目にそって動かします。**

⚠注意

ゆか面に傷を付けるおそれあり

●特にひのきやクッションフロア※などのやわらかいゆかの場合、エアーヘッドをゆか面に強く押しつけないでください。

●車輪にごみが絡みつくと、車輪が回転できず、磨耗と床傷つけの原因となります。定期的にお手入れしてください。〈P.17〉

●車輪、回転ブラシが磨耗しているときは、お早めにお買い上げの販売店にご相談ください。〈P.22、23〉

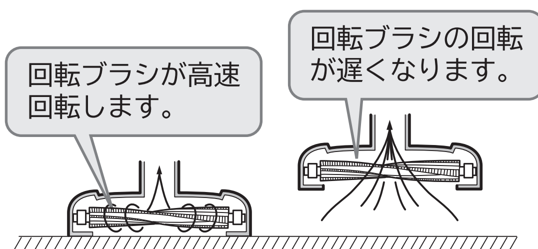
※クッションフロアとは、表面に塩化ビニルなどを用いたクッション性のあるゆか材のことです。



お願い ●ゆか面の種類によっては、操作が重くなることがあります。このようなときは、「弱」運転に切り替えてください。

エアーヘッドの回転ブラシについて

●エアーヘッドを持ち上げたときは、静かにするため回転ブラシの回転が遅くなります。(止まる場合もあります)



⚠警告

けがのおそれあり

●運転中はエアーヘッドの回転ブラシに触れないでください。巻き込まれるおそれがあります。特にお子さまにはご注意ください。

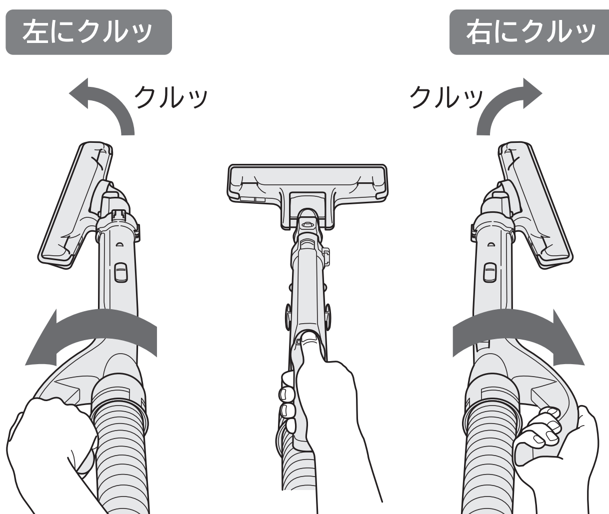
お願い ●じゅうたんの種類によっては、回転ブラシが回転しにくくなることがあります。このようなときは、「強」運転に切り替えてください。

●薄いカーペットなどが吸いついて、ごみが取れにくいときは、カーペットの隅を押さえ、吸いつかないようにしてお掃除してください。

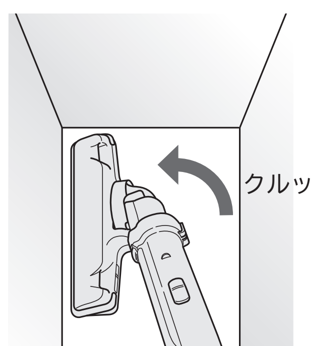
●回転ブラシはゆか・たたみ上でも回転します。

クルッとヘッド

●グリップハンドルをひねると、エアーヘッドの向きが変わります。



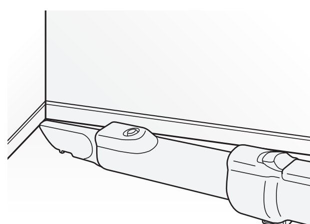
●エアーヘッドをクルッと回してすき間もスムーズにお掃除できます。



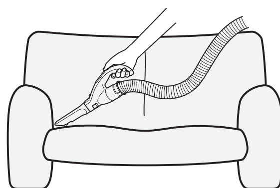
すき間用吸口

●狭いすき間や隅をお掃除する吸口です。

お部屋の隅のお掃除に



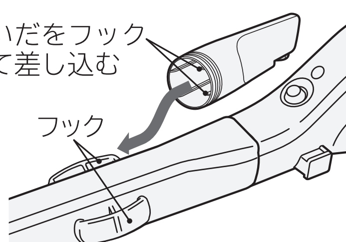
ソファーの隅などのお掃除に



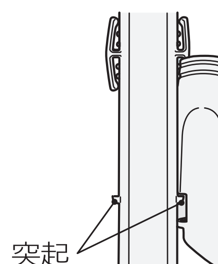
●延長管か手もと操作部にねじ込んでご使用ください。



●左右いずれかのフックに差し込んで収納します。



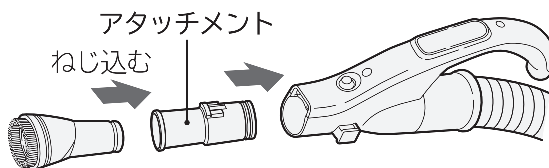
●下側に取り付けるときは、図の向きに付けると落ちにくくなります。



お掃除のしかた(続き)

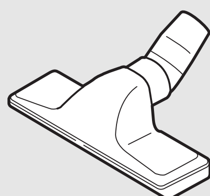
あると便利な別売り吸口

●付属の別売り部品接続用アタッチメントを使うと、
別売りの吸口が使えます。〈P.23〉
アタッチメントは、手もと操作部または延長管に
取り付けてご使用ください。



ふとん用吸口(G-52)

ふとんを傷めず、ダニ・ほこり・糸くずなどを
吸い取る吸口です。
(「弱」運転でご使用ください)
水洗いができます。



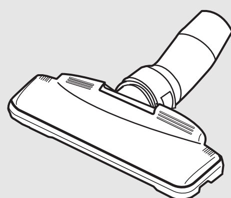
はたき吸口(D-H3)

はたき感覚で、エアコン、ブラインド、家具な
どをお掃除する吸口です。
ブラシ部分は水洗いができます。



丸洗いフローリングヘッド(D-F3)

フローリング、たたみに適した大きめの拭き専
用ブラシ付きの吸口です。
(「標準」「弱」運転でご使用ください)
水洗いができます。



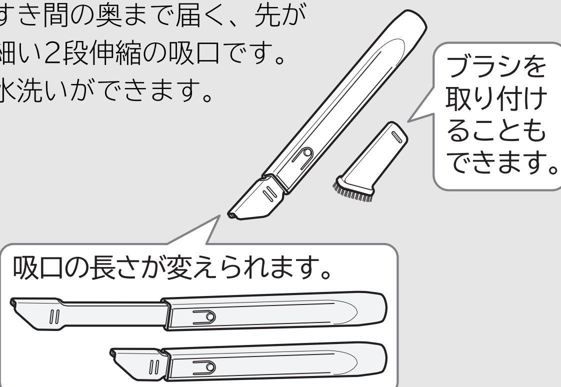
棚用自在吸口(D-TJ2)

吸口の角度を変えて、棚の上などをお掃除する
吸口です。
水洗いができます。



伸縮すき間用吸口(D-SH2)

すき間の奥まで届く、先が
細い2段伸縮の吸口です。
水洗いができます。



クルッと切替えブラシ吸口

狭いすき間や隅をお掃除する吸口です。
お掃除する場所に合わせて、先端の切替えブラシ
を装着できます。

別売り部品接続用
アタッチメントは
必要ありません。



ごみの捨てかた

●サイクロン式のクリーナーは、「紙パックがいらない」という特長を持っていますが、強い吸込力でお掃除していただくためには、こまめなごみ捨て、フィルターのお手入れをおすすめします。

お掃除が終わったら、ダストケースを取り出し、
1「立体フィルター」と 2「クリーンフィルター」のごみを捨ててください。

●本体のランプで、ごみ捨ての目安をお知らせします。〈P.7〉
●ティッシュペーパーを使用すると、ごみ捨てがさらに簡単・清潔になりますのでおすすめします。〈P.14〉

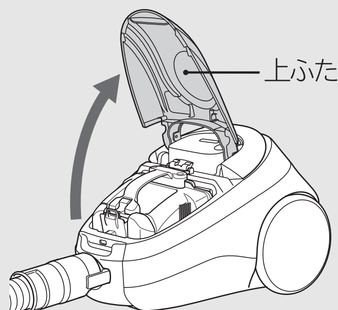


感電・けがのおそれあり
●ごみ捨ての際は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

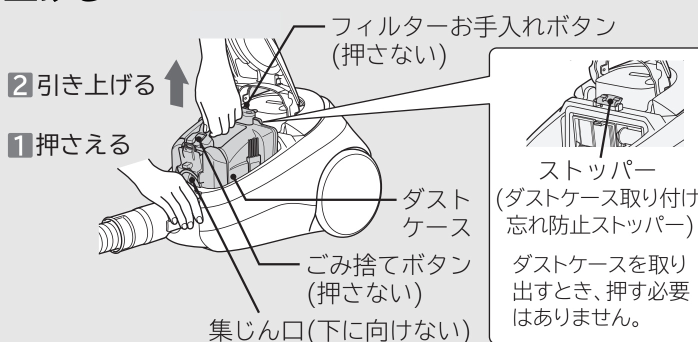
お願い ●ごみ捨ての際に細かなほこりが舞い上がることがあります。屋外など、換気のよい環境でごみ捨てをしていただくか、マスクを着用するなどして、ほこりを吸い込まないようご注意ください。

ダストケースの取り出しかた

1 本体を横にして、上ふたを開ける



2 本体の前側を手で押さえ、まっすぐ上に引き上げる

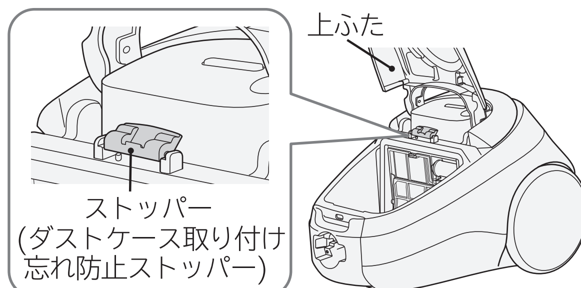


お願い
●ダストケースを取り出すときは、「ごみ捨てボタン」や「フィルターお手入れボタン」を押さないでください。ごみがこぼれる場合があります。本体内にごみがこぼれたときは、ごみを取り除いてから元どおりダストケースを取り付けてください。
●ダストケースを持つときや置くときは、集じん口を下に向けないでください。ごみがこぼれる場合があります。
●ダストケースを取り付けるときは、ダストケースを奥まで入れてください。ダストケースが取り付けられていない状態や、奥まで入っていない状態では、上ふたが閉まりません。
●ダストケースが奥まで入っていない状態で本体を運転した場合、ダストケース付近から「ピー」という異音がすることがあります。ダストケースはしっかり奥まで入れてください。

上ふたのストッパーについて

ダストケースの取り付け忘れを防ぐため、ダストケースが取り付けられていない状態では、ストッパーの働きにより、上ふたが閉まりません。ダストケースを取り付けてから上ふたを閉めてください。

●ダストケースが取り付けられていない状態で上ふたを無理に押さえると、上ふたやストッパーが破損するおそれがあります。

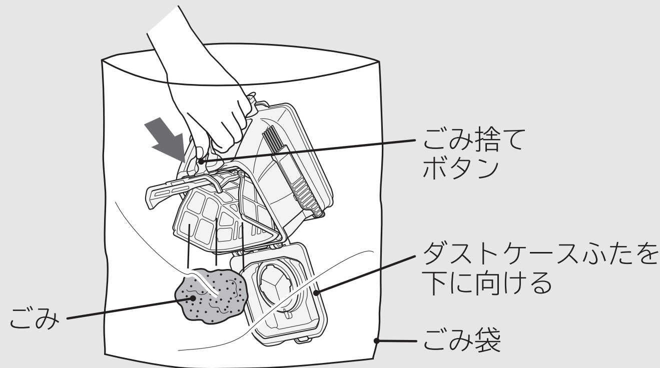


ごみの捨てかた(続き)

ダストケースのごみの捨てかた

1「立体フィルター」のごみの捨てかた

1 ダストケースを大きめのごみ袋などの中に入れ、ごみ捨てボタンを押す



⚠警告

けがのおそれあり

●ごみを捨てるときは、ダストケース下部を持たないでください。
手を挟むおそれがあります。

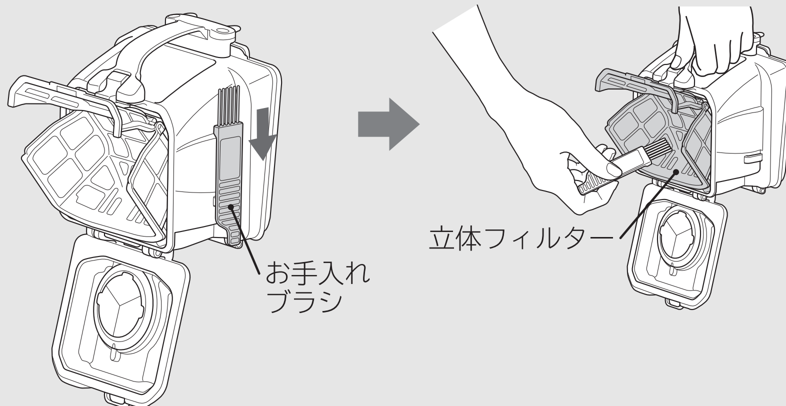
お願い

●ごみが出にくい場合は、ダストケースの側面をたたくなどして振動を加えてください。

2 お手入れブラシで、立体フィルターに付着したごみを取り除く

1 ダストケース側面に取り付けられているお手入れブラシを取り外す

2 目詰まりを取り除く



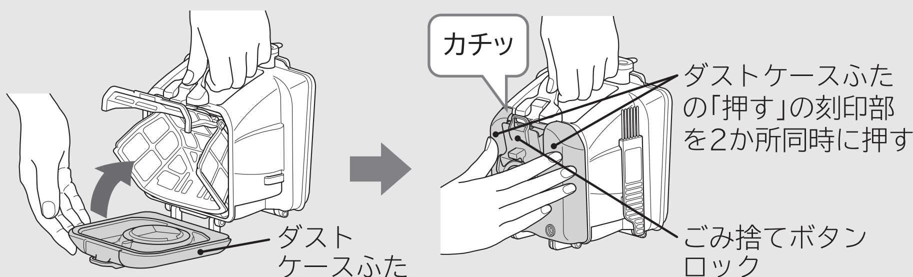
⚠注意

けがのおそれあり

●ガラスの破片や虫ピンなど鋭利なものを誤って吸い込んでいる場合があります。けがをしないよう注意して取り除いてください。

●立体フィルターは取り外してお手入れできます。〈P.16〉

3 ダストケースふたを閉める

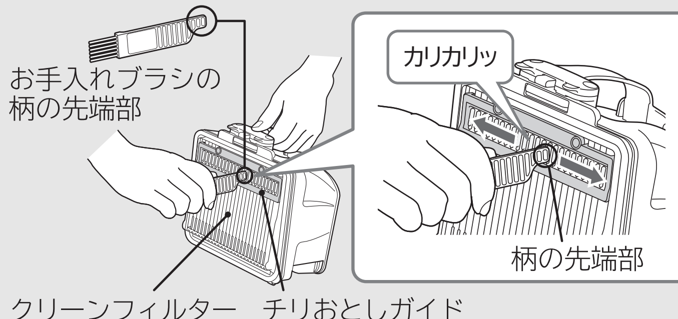


●ごみ捨てボタンロックを押したままダストケースふたを閉めようとしても閉まりません。

2「クリーンフィルター」のごみの捨てかた

1 お手入れブラシの柄の先端部を、クリーンフィルターの白いひだ部分に押し当てながらチリおとしガイドにそわせて、左右に5往復程度動かす

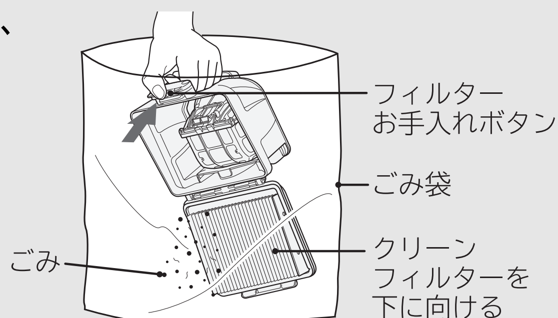
●これによりクリーンフィルターが振動し、付着したチリがダストケース内に落ちます。



お願い ●柄の先端部を強く押し当てすぎるとクリーンフィルターが破れることがあります。軽く押し当ててください。

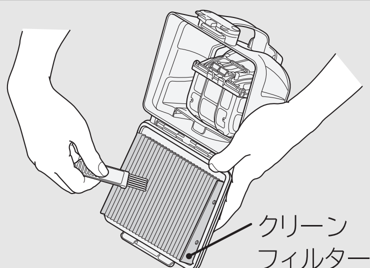
2 ダストケースを大きめのごみ袋などの中に入れ、フィルターお手入れボタンを押す

●クリーンフィルターを軽くたたいて付着したごみを落としてください。

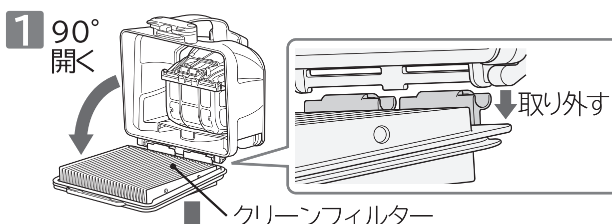


3 お手入れブラシで、クリーンフィルターに付着したごみを取り除く

●ひだの奥にたまったごみを取り除いてください。



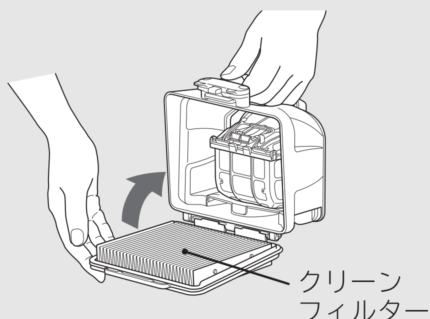
●取り外してお手入れすることもできます。



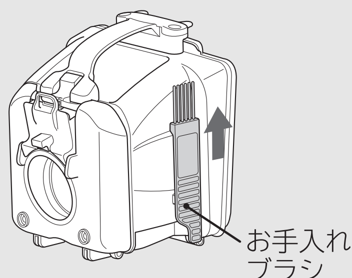
●お手入れ後は、取り外した逆の手順で取り付けてください。

4 クリーンフィルターを閉め、お手入れブラシを取り付ける

1 「カチッ」と音がするまで閉める



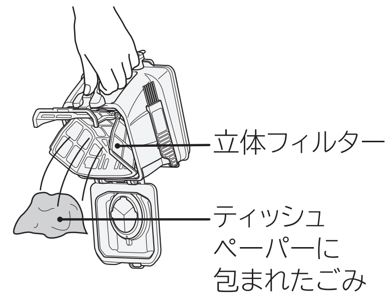
2 ダストケース側面にお手入れブラシを取り付ける



ごみの捨てかた(続き)

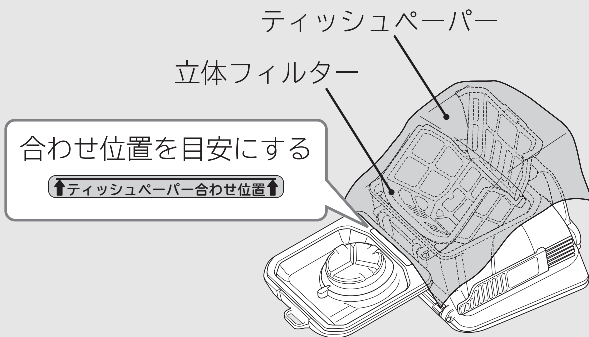
ティッシュペーパーの取り付けかた

●ティッシュペーパーを使用すると、ごみ捨てがさらに簡単・清潔になりますのでおすすめします。
●ティッシュペーパーの種類や取り付け状態によっては、ティッシュペーパーが破れることがありますが異常ではありません。
●ごみ捨て時にティッシュペーパーが破れていても異常ではありません。

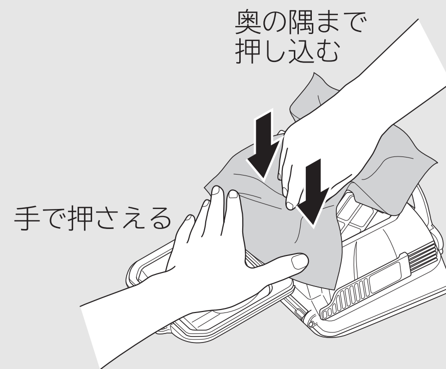


お願い ●ティッシュペーパーは、一辺の長さが20cm程度以上で2枚重ねのものをご使用ください。
●ぬれたティッシュペーパーは使用しないでください。
●立体フィルターにごみが付着している場合は、付属のお手入れブラシで取り除いてください。

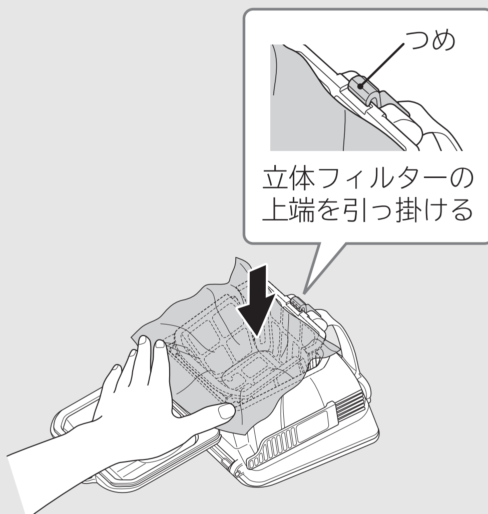
1 ティッシュペーパーを広げ、下端をシールに合わせて、立体フィルターにのせる



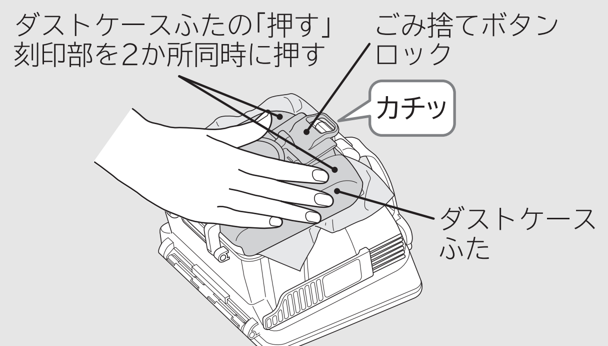
2 立体フィルターの内側にそわせて、ティッシュペーパーを奥まで押し込む



3 立体フィルターをそっと押し込み、ごみ捨てボタンのつめに引っ掛ける



4 ダストケースふたを閉める

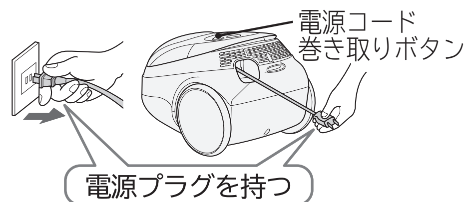


●ティッシュペーパーはダストケースからはみ出したままで問題ありません。
●ティッシュペーパーを使用した場合、吸込仕事率が10W程度下がります。
●ごみ捨てボタンロックを押したままダストケースふたを閉めようとしても閉まりません。

あとかたづけ

電源コードの巻き取りかた

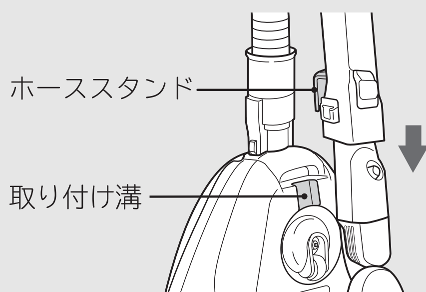
電源プラグを持って、電源コード巻き取りボタンのマーク部()を押しながら、電源コードを巻き取ってください。



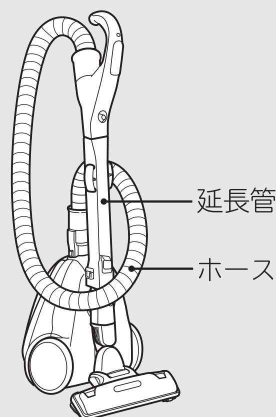
⚠注意	**けがをする・家具に傷を付けるおそれあり** ●電源プラグを抜くとき・電源コードを巻き取るときは、電源プラグを持ってください。

収納のしかた

1 延長管を縮めて〈P.6〉、取り付け溝にホーススタンドを差し込む

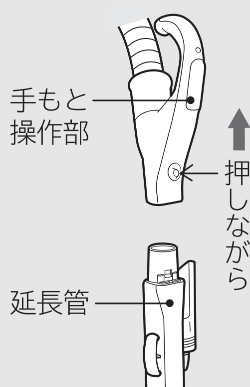


2 ホースを延長管に巻きつける

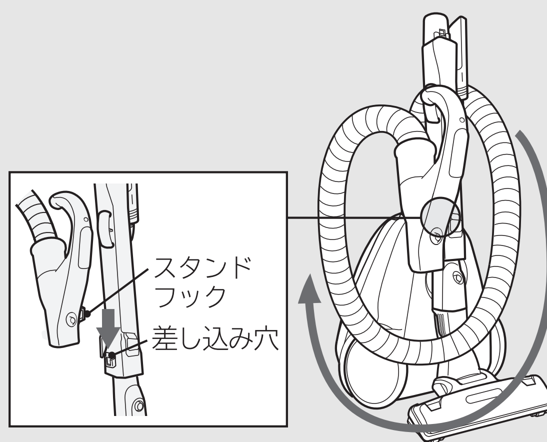


さらにコンパクトに収納したいとき

1 手もと操作部を延長管から外す



2 ホースを延長管に巻きつけて、差し込み穴にスタンドフックを差し込む



⚠注意	**けがのおそれあり** ●収納状態のままで持ち運ぶと、ホースや延長管が外れることがあります。



お願い
●ストーブの近くや直射日光が長時間当たるなど、高温になる場所での収納はしないでください。
ホースの変形や故障の原因となります。
●ホースがつぶれたり、折れ曲がるなど、変形するような状態での収納はしないでください。

吸込力が弱くなったら

ごみを捨てても「吸込力が回復しない」、「本体のランプが点灯した」ときは、各フィルターを水洗いしてください。

●水洗い後は、十分に自然乾燥させてください。クリーンフィルターの乾燥には約12時間必要です。
(乾燥時間は、環境や季節によって異なります)

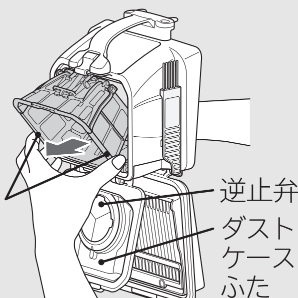
立体フィルター

1 立体フィルターを取り外して水洗いする

1 ダストケースふた、クリーンフィルターを開けて、立体フィルターの「押す」刻印部を指で押す

立体フィルター
「押す」刻印部
押す
ダストケースふた
クリーンフィルター

2 立体フィルターを取り外し、水洗いする



立体フィルターの枠を持ち、ダストケースふた側から引き出す
逆止弁
ダストケースふた



けがのおそれあり
●分解するときは、「押す」刻印部を押してください。
●ガラスの破片や虫ピンなど鋭利なものを誤って吸い込んでいる場合があります。
けがをしないよう注意して取り除いてください。

お願い
●立体フィルターを強く押して洗わないでください。破損の原因となります。
●逆止弁を引っ張らないでください。破損の原因となります。

2 立体フィルターを取り付ける

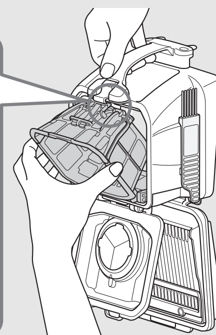
1 立体フィルターのベースをケースの溝に差し込む

立体フィルター
ケース
溝
ベース

●ケースの汚れが気になるときは、水洗いしてください。

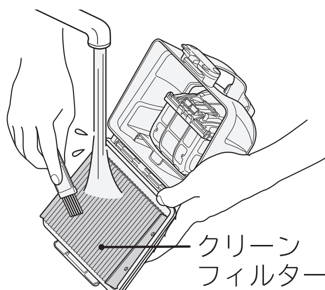
2 立体フィルターを元どおり取り付ける

ストッパー
立体フィルターのストッパーを押し込む



クリーンフィルター

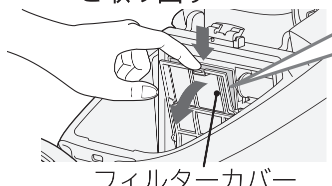
●ひだの奥にたまったごみを水で流してください。
●取り外してお手入れすることもできます。〈P.13〉



クリーンフィルター

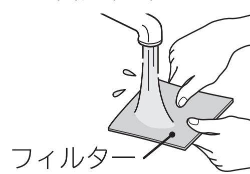
フィルター(抗菌加工)

1 フィルターカバーを取り外し、フィルターを取り出す



フィルターカバー

2 水で軽く押し洗いする
●たたいて水気を切り、自然乾燥させます。



フィルター

お願い
●**洗剤、漂白剤などを使用したり、洗濯機で洗ったりしないでください。また、ヘアードライヤーなどの熱風で乾燥させないでください。性能の低下や変形の原因となります。**
●付着しているごみは、軽く落としてから水洗いしてください。
●付属のお手入れブラシ以外のブラシは使用しないでください。破損の原因となります。
●**ダストケースおよび各フィルターは、取り付けて運転してください。モーターにごみが入り、故障の原因となります。**
●各フィルターを水洗いしても吸込力が弱い場合は、クリーンフィルターなどの劣化が考えられます。取り替えをご希望される場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。〈P.22、23〉

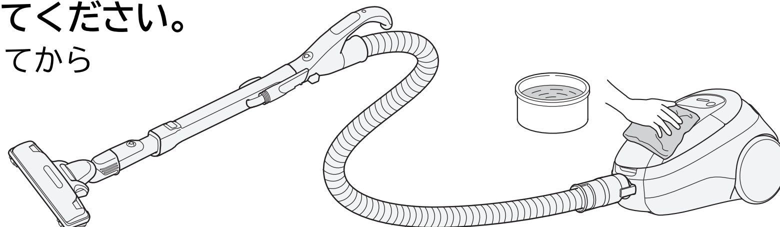
お手入れのしかた

 **警告**

感電・けがのおそれあり
●お手入れの際は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

本体・標準付属品・付属応用部品

●汚れが気になるときはお手入れしてください。
水を含ませたやわらかい布をよく絞ってから
ふいてください。



お願い ●ベンジン、シンナー、アルコール、洗剤などを使用しないでください。
ひび割れや変色の原因となります。

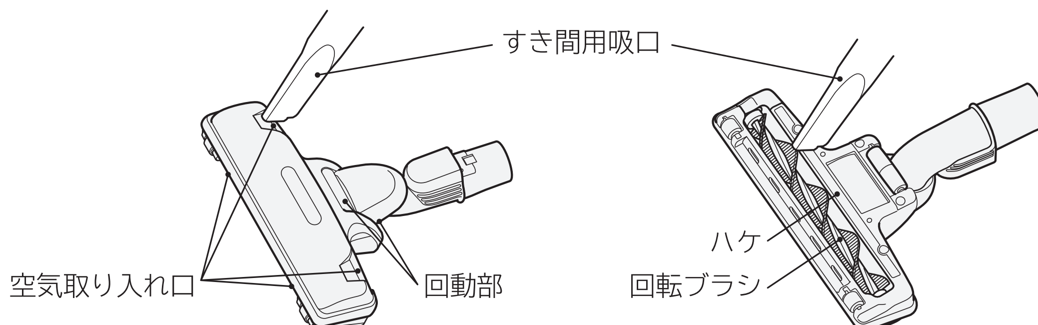
エアーヘッド

●吸込力が弱くなったり、汚れが気になるときはお手入れしてください。
●定期的なお手入れ(月1回程度)をおすすめします。
回転ブラシ、ハケ、車輪、空気取り入れ口、回動部にごみが付着していると、吸込力の低下や故障の原因となります。

お願い ●エアーヘッドは、延長管や手もと操作部から取り外してお手入れしてください。

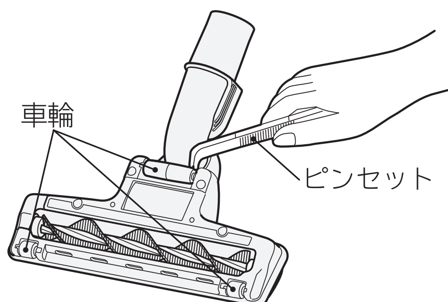
付着したごみを取り除く

付着したごみを、すき間用吸口を使って吸い取ってください。



車輪に絡みついたごみを取り除く

ピンセットなどで取り除いてください。



 **注意**

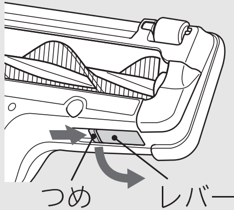
ゆか面に傷を付けるおそれあり
●車輪にごみが絡みつくと、車輪が回転できず、磨耗と床傷つけの原因となります。
●車輪、回転ブラシが磨耗しているときは、お早めにお買い上げの販売店にご相談ください。
〈P.22、23〉

お手入れのしかた(続き)

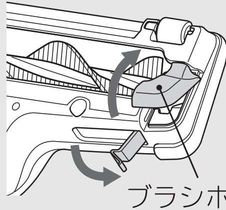
エアーヘッドを水洗いする

1 回転ブラシを取り外し、ごみを取り除く

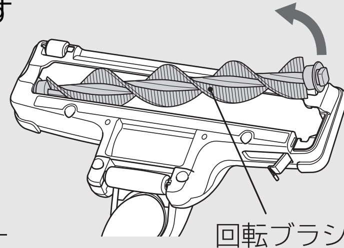
1 エアーヘッドを裏返して、レバーのつめを右に押しながら手前に開く



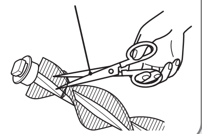
2 レバーが止まるまで開いたあと、ブラシホルダーを取り外す



3 回転ブラシを取り外す

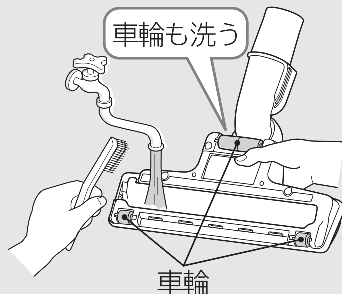


絡みついたごみはハサミなどで切って取り除く



2 エアーヘッド、ブラシホルダー、回転ブラシを水洗いし、水気を切る

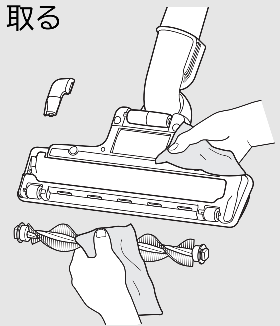
1 各部品を洗う



2 水抜き穴を下にし、エアーヘッドを振って水気を切る



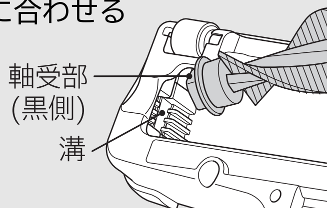
3 乾いた布で水気をふき取る



お願い
- ●ベンジン、シンナー、アルコール、洗剤などは使用しないでください。
  また、毛のかたいブラシで洗わないでください。
- ●水洗い後は陰干しにして、十分に自然乾燥させてください。
  ヘアードライヤーなどの熱風で乾燥させないでください。性能の低下や変形の原因となります。

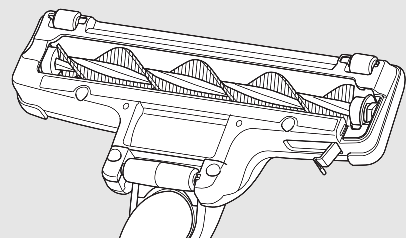
3 エアーヘッド、ブラシホルダー、回転ブラシが乾燥したことを確認し、回転ブラシを取り付ける

1 回転ブラシの軸受部(黒側)を溝に合わせる



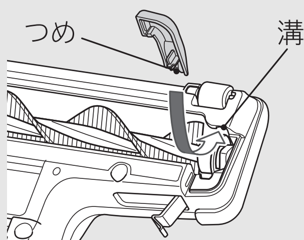
お願い ●軸受部には注油しないでください。

2 元どおり取り付ける

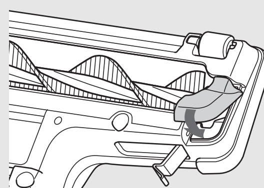


4 ブラシホルダーを取り付ける

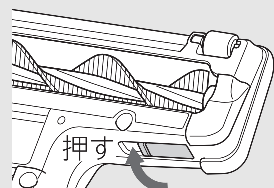
1 つめを溝に合わせる



2 ブラシホルダーを取り付ける



3 レバーを閉める



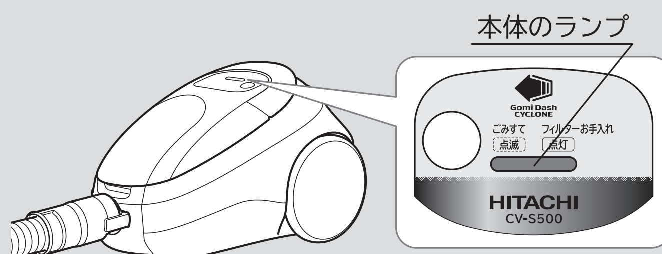
故障かなと思ったら

修理を依頼される前に

次の点をもう一度お調べください

本体が運転できない

保護装置が働いている場合があります。次の直しかたにより保護装置を解除してください。



保護装置と原因

本体のランプが点灯したまま運転を続けると、本体モーターの過熱を防ぐために、電力を抑える保護運転になることがあります。
さらにこの状態で運転を続けると、自動的に運転を停止します。

- フィルターのごみ詰まり
- 吸込口をふさいだままの運転
- ホース・延長管のごみ詰まり

直しかた

「切」スイッチを押し、電源プラグをコンセントから抜く

↓

- ごみ捨て/フィルターのお手入れ(水洗い)をする 〈P.11~13、16〉
- 吸込口をふさいでいるものを取り除く
- ホース･延長管に詰まったごみを取り除く

↓

約5分後～約60分後に保護装置が解除され、再びご使用いただけます。

故障かなと思ったら(続き)

■その他の症状

症　状	確認するところ	直しかた	ページ
吸込力が弱い	(1)ダストケースのごみがいっぱいになっていませんか。	(1)立体フィルターとクリーンフィルターのごみを捨ててください。	P.11 ～ P.13
	(2)各フィルターにごみが付着していませんか。	(2)各フィルターのお手入れをしてください。	P.16
	(3)延長管、ホース、つぎてにごみが詰まっていませんか。	(3)ごみを取り除いてください。	–
	(4)エアーヘッドにごみが詰まっていませんか。	(4)ごみを取り除いてください。	P.17 P.18
	延長コードを使用したり、ほかの家電製品と同一のコンセントをご使用になると、電源電圧の低下により、早期に本体のランプが点滅/点灯する場合があります。 定格15A以上・交流100Vのコンセントを単独でご使用ください。		–
急に吸込力が弱くなり、しばらくすると回復する	●エアーヘッドを押しつけたり、ふさぐようにして薄いカーペット、毛足の長いじゅうたんなどをお掃除していませんか。 ●すき間用吸口をカーテンなどに押しつけたりふさぐようにしてお掃除していませんか。	本体モーターの過熱防止のため、自動的に電力を抑える運転をしています。異常ではありません。 ●回復しにくい時は、スイッチを切ってから、もう一度運転をしてください。 ●回復後、エアーヘッドは力を入れず、すべらせるように軽く動かしてください。	–
本体が運転しない	(1)電源プラグがコンセントにしっかり差し込まれていますか。	(1)しっかり差し込んでください。	P.6
	(2)本体にホースが確実に差し込まれていますか。	(2)「カチッ」と音がするまでしっかり差し込んでください。	P.2 P.3
排気や本体があたたかくなる(特に夏場)	空気の流れで本体モーターを冷却しているためで、異常ではありません。		–
排気から異臭が出る	(1)フィルターにごみが付着していませんか。	(1)各フィルターのお手入れをしてください。	P.16
	(2)水洗い後のフィルターの乾燥が不十分ではないですか。	(2)水洗い後は、十分に自然乾燥させてください。	P.16

症　状	確認するところ	直しかた	ページ
エアーヘッドの回転ブラシが回転しないまたは回転しにくい	(1)本体、ホース、延長管、エアーヘッドなどがしっかり接続されていますか。	(1)しっかりと接続してください。	P.2 P.3
	(2)エアーヘッドがゆか面から浮いていませんか。	(2)ゆか面から浮かせると遅くなる構造になっています。	P.8
	(3)回転ブラシ、空気取り入れ口などにごみなどが付着していませんか。	(3)ごみを取り除いてください。	P.17 P.18
	(4)延長コードを使用したり、ほかの家電製品と同一のコンセントを使用していませんか。	(4)定格15A以上・交流100Vのコンセントを単独でご使用ください。	–
ダストケース付近から「ピー」という異音が出る	本体にダストケースが確実に取り付けられていますか。	確実に奥まで取り付けてください。	–
上ふたが閉まらない	本体にダストケースが確実に取り付けられていますか。	確実に奥まで取り付けてください。	–
電源コードが全部入らない、または引き出せない	電源コードが片寄って巻き込まれたり、よじれたりしていることがあります。電源コード巻き取りボタンを押しながら、電源コードを「巻き取る」「引き出す」操作を数回繰り返してください。そのあと、黄印まで引き出してよじれを直してから、もう一度巻き込んでください。		–
確認してもまだ異常がある場合		ご自分で修理をなさらないで、お買い上げの販売店へご相談ください。	P.22

アフターサービスと保証

使用中に異常が生じたときは

「故障かなと思ったら」〈P.19～21〉をご確認のあと、それでも故障と思われる場合には、ご自分で修理をなさらないでお買い上げの販売店にご相談ください。

●修理を依頼されるため、掃除機を販売店にお持ちの際は、標準付属品(ホース、延長管、エアーヘッド)もご一緒にお持ちください。

お知らせいただきたい内容
1 型式－CV-S500
2 症状－できるだけ詳しく

長時間ご使用になるとき

●一日のご使用時間が極端に長い場合や、共同(寮など)でご使用になる場合には、短期間で部品の交換(エアーヘッドやモーターなど)が必要になることがあります。お買い上げの販売店にご相談のうえ、定期的な点検をなさってご使用になることをおすすめします。
●このような場合は、保証期間中でも有料になることがあります。

※この掃除機は家庭用です

転居される場合

●ご転居により、お買い上げの販売店のアフターサービスを受けられなくなる場合は、前もって販売店にご相談ください。ご転居先での日立の家電品取扱店を紹介させていただきます。
●電源周波数の異なる地区へのご転居に際しても、部品の交換は不要です。

部品の保有期間について

この掃除機の補修用性能部品の保有期間は、**製造打ち切り後6年**です。
補修用性能部品とは、その商品の機能を維持するために必要な部品です。

愛情点検



★長年ご使用の掃除機の点検を

ご使用の際、このような症状はありませんか？	●スイッチを押しても、運転しない ●電源プラグやコードを動かすと、通電したりしなかったりする ●運転中、時々止まる ●運転中、異常な音がする ●本体が変形したり、異常に熱い ●ホースが破れている ●こげくさい“におい”がする ●その他の異常がある	▶	**ご使用中止**	事故防止のため、すぐにスイッチを切り、電源プラグを抜いて、販売店へ点検・修理を依頼してください。

日立家電品についてのご相談や修理はお買い上げの販売店へ

なお、転居されたり、贈り物でいただいたものの修理などで、ご不明な点は下記窓口にご相談ください。
※下記窓口の内容は、予告なく変更させていただく場合がございます。

ホームページに「よくあるご質問」について記載しておりますので、ご活用ください。
http://kadenfan.hitachi.co.jp/q_a/index.html

修理に関するご相談は
エコーセンターへ
TEL 0120-3121-68
FAX 0120-3121-87
(受付時間) 9:00～19:00(月～土)、9:00～17:30(日･祝日)
携帯電話、PHSからもご利用できます。

商品情報やお取り扱いについてのご相談は
お客様相談センターへ
TEL 0120-3121-11
FAX 0120-3121-34
(受付時間) 9:00～17:30(月～土)、9:00～17:00(日･祝日)
年末年始は休ませていただきます。
携帯電話、PHSからもご利用できます。

保証について

●**この商品は保証書付きです。**
保証書は販売店で所定事項を記入してお渡しいたします。記載内容をご確認いただき、大切に保存してください。

保証期間	**お買い上げ日から1年間です。** (保証期間中でも有料になることがありますので、保証書をよくお読みください)
保証期間中は	修理に際しましては、保証書をご提示ください。 保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。
保証期間が過ぎているときは	修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料で修理させていただきます。

●「持込修理」および「部品購入」については、上記サービス窓口にて各地区のサービスセンターをご紹介させていただきます。
●ご相談、ご依頼いただいた内容によっては弊社のグループ会社に個人情報を提供し対応させていただくことがあります。
●修理をご依頼いただいたお客様へ、アフターサービスに関するアンケートハガキを送付させていただくことがあります。

別売り部品

日立の家電品取扱店でお求めください。
価格は、2013年1月現在の消費税率を基に総額表示を行っています。

ふとん用吸口(G-52)	はたき吸口(D-H3)	丸洗いフローリングヘッド(D-F3)
希望小売価格 1,785円(税抜 1,700円)	希望小売価格 3,990円(税抜 3,800円)	希望小売価格 5,250円(税抜 5,000円)

棚用自在吸口(D-TJ2)	伸縮すき間用吸口(D-SH2)
希望小売価格 1,260円(税抜 1,200円)	希望小売価格 1,680円(税抜 1,600円)

クルッと切替えブラシ吸口	サッとハンドル
サービスパーツ CV-PL8-009 クルッと切替えブラシ吸口 とご指定ください 希望小売価格 1,050円(税抜 1,000円)	サービスパーツ CV-SM8-008 サッとハンドルSM8 とご指定ください 希望小売価格 1,050円(税抜 1,000円)

●付属応用部品や、補修用性能部品もお買い求めいただけます。

お手入れブラシ	すき間用吸口	別売り部品接続用アタッチメント	クリーンフィルター
サービスパーツCV-SK20-001 お手入れブラシSK とご指定ください 希望小売価格 420円(税抜 400円)	サービスパーツCV-SJ10-030 すき間用吸口 とご指定ください 希望小売価格 315円(税抜 300円)	サービスパーツCV-SM10-033 アタッチメント(SM) とご指定ください 希望小売価格 315円(税抜 300円)	サービスパーツCV-SR3300-022 Bフィルタークミ SR とご指定ください 希望小売価格 1,050円(税抜 1,000円)

回転ブラシ	車輪(前)	車輪(後)
サービスパーツCV-TR560-004 ロータリブラシクミ(TM46) とご指定ください 希望小売価格 2,100円(税抜 2,000円)	サービスパーツCV-VL5-007 ローラブクミF とご指定ください 希望小売価格 525円(税抜 500円)	サービスパーツCV-WF5-018 ローラブクミ(L) とご指定ください 希望小売価格 315円(税抜 300円)

●上記希望小売価格は、価格改正に伴い変更する場合があります。
●車輪・回転ブラシを交換する場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。
お客様のご要望により部品交換いたします。部品交換には、部品代のほかに交換作業費がかかります。

仕様

この製品は日本国内家庭用です。電源電圧や電源周波数の異なる海外では使用できません。
また、アフターサービスもできません。

電源	100V 50-60Hz共用	本体寸法	長さ330mm×幅255mm×高さ219mm
消費電力	1000W ～ 約200W	標準付属品	ホース……1本 エアーヘッド……1個 延長管……1本
吸込仕事率※	560W ～ 約80W		
運転音	66dB ～ 約60dB	付属応用部品	お手入れブラシ……1個 すき間用吸口……1個 別売り部品接続用アタッチメント……1個 ティッシュペーパー……1枚
集じん容積	0.4L		
コードの長さ	5m		
質量	5.4kg(標準付属品を含む)		

※吸込仕事率は、ティッシュペーパー非装着時のものです。

抗菌効果	部品名	抗菌の確認を行った試験機関	試験方法	抗菌の方法	抗菌の処理を行っている部品の名称	試験結果(抗菌活性値)
	回転ブラシ	一般財団法人 カケンテストセンター	JIS L 1902に基づく	繊維に塗布定着	刷毛	2.0以上
	フィルター	一般財団法人 ボーケン品質評価機構		繊維に練り込み	不織布	

※抗菌活性値が2.0以上で抗菌効果があるとされています。

お客様メモ
後日のために記入しておいてください。
サービスを依頼されるとき、お役に立ちます。

購入店名　　電話

ご購入年月日　　年　月　日

日立アプライアンス株式会社
〒105-8410 東京都港区西新橋2-15-12

3-M8635-6A　　A3(H)